

船橋市歯科診療所
平成30年度事業報告書

指定管理者：公益社団法人船橋歯科医師会

目次

I	管理の実施状況.....	3
1.	かざぐるま休日急患・特殊歯科診療所.....	3
2.	さざんか特殊歯科診療所.....	3
II	利用状況.....	4
1.	かざぐるま歯科診療所.....	4
2.	さざんか歯科診療所.....	7
III.	収支状況.....	9
1.	かざぐるま歯科診療所.....	9
2.	さざんか歯科診療所.....	10
IV	中期目標の達成状況及び中期行動計画の実施状況報告	11
1.	利用者及びその家族に対して提供するサービスに関する事項	11
目標 1	口腔ケアの充実.....	11
目標 2	摂食嚥下機能訓練による口から食べる機能の維持.....	13
目標 3	固定診療の患者満足度.....	15
目標 4	訪問診療の患者満足度.....	18
2.	財務内容の改善に関する事項.....	20
目標 5	かざぐるま歯科診療所 指定管理委託料の執行率.....	20
目標 6	さざんか歯科診療所 指定管理委託料の執行率.....	21
3.	その他管理に関する重要事項.....	22
目標 7	従事者に対し医療安全研修や技術向上を目的とした研修を実施する.....	22

I 管理の実施状況

1. かざぐるま休日急患・特殊歯科診療所（以下「かざぐるま歯科診療所」という）

診療職種編成は常勤歯科医師、歯科医師、歯科衛生士、受付事務からなり、基本配置は以下のとおり。

曜日	配 置
月	常勤歯科医師 1 名 歯科医師 1 名 歯科衛生士 3 名 受付事務 1 名
火	常勤歯科医師 1 名 歯科医師 1 名 歯科衛生士 3 名 受付事務 1 名
水	常勤歯科医師 1 名 歯科医師 2 名 歯科衛生士 3 名 受付事務 1 名
木	歯科医師 2 名 歯科衛生士 4 名
金	常勤歯科医師 1 名 歯科医師 1 名 歯科衛生士 3 名 受付事務 1 名
土	常勤歯科医師 1 名 歯科医師 1 名 歯科衛生士 3 名 受付事務 1 名
日	歯科医師 1～3 名 歯科衛生士 1～3 名 受付事務 1～3 名

患者の予約状況の動向をみて、会員歯科医、歯科衛生士の出勤人数の調整を行った。

2. さざんか特殊歯科診療所（以下「さざんか歯科診療所」という）

診療職種編成は管理指導医、歯科医師、歯科衛生士、受付事務、栄養士からなり基本配置は以下のとおり。

曜日	配 置
月	受付事務 1 名
水	受付事務 1 名
木	歯科麻酔管理指導医 小児歯科管理指導医 歯科医師 2 名 歯科衛生士 5 名 受付事務 1 名
金	受付事務 1 名
第 2・4 土	歯科麻酔管理指導医 小児歯科管理指導医 歯科医師 1 名 歯科衛生士 4 名 受付事務 1 名
第 1・3・5 土	歯科麻酔管理指導医 歯科医師 2 名 歯科衛生士 4 名 受付事務 1 名
第 2・4・5 日	歯科麻酔管理指導医 歯科医師 2～3 名 歯科衛生士 4～5 名 受付事務 1 名
第 1・3 日	歯科麻酔管理指導医 摂食管理指導医 歯科医師 3～4 名 歯科衛生士 5 名 受付事務 1 名 栄養士 1 名

日曜日は訪問診療の有無により出勤人数の調整を行った。

Ⅱ 利用状況

1. かざぐるま歯科診療所

(1) 年間患者数

(単位：人)

区 分	実患者数	新患者数	延患者数
計	1,855	397(110)	2,343

() 内は特殊歯科診療の新規患者数

(2) 休日急患診療実績

① 診療日数 73日

② 延患者数内訳

(単位：人)

区 分	男	女	計
4月	13	6	19
5月	15	19	34
6月	2	0	2
7月	5	5	10
8月	14	7	21
9月	9	6	15
10月	3	7	10
11月	6	2	8
12月	37	43	80
1月	48	44	92
2月	3	3	6
3月	10	5	15
計	165	147	312
1日平均患者	2.3	2.0	4.3

③ 初診時年齢分布（新患者数）（単位：人）

区 分	計
10歳未満	28
10～19歳	19
20～29歳	30
30～39歳	34
40～49歳	61
50～59歳	32
60～64歳	17
65～69歳	14
70～79歳	36
80～89歳	14
90歳以上	2
計	287

④ 地域別患者内訳（延患者数）（単位：人）

区 分	計
船橋市	283
鎌ヶ谷市	11
市川市	6
習志野市	2
白井	1
千葉市	3
八千代市	2
県外	4
合計	312

(3) 特殊歯科診療実績

① 診療日数	障害児・者	284日	摂食嚥下機能訓練	46日
	要介護高齢者(固定)	236日	摂食嚥下機能訓練	48日
	要介護高齢者(訪問)	236日	摂食嚥下機能訓練	57日

② 延患者数月別内訳

(単位：人)

区 分	障害児・者		要介護高齢者 固定診療		要介護高齢者 訪問診療		計
	男	女	男	女	男	女	
4月	46(9)	18(4)	14(0)	8(0)	31(10)	36(3)	153(26)
5月	39(7)	17(3)	14(2)	6(0)	34(8)	27(0)	137(20)
6月	54(7)	34(4)	12(3)	16(0)	27(3)	35(3)	178(20)
7月	46(7)	36(6)	17(6)	11(3)	35(5)	40(3)	185(30)
8月	48(6)	17(3)	14(3)	9(3)	28(4)	35(1)	151(20)
9月	39(6)	27(5)	7(2)	13(6)	32(2)	40(6)	158(27)
10月	47(9)	25(0)	10(3)	15(8)	35(4)	48(1)	180(25)
11月	44(7)	27(6)	7(0)	14(1)	36(0)	45(1)	173(15)
12月	53(8)	29(4)	6(3)	18(3)	45(4)	38(1)	189(23)
1月	46(9)	22(6)	10(1)	20(6)	34(3)	36(1)	168(26)
2月	39(7)	28(4)	7(2)	15(4)	32(4)	46(5)	167(26)
3月	53(7)	30(6)	10(1)	20(4)	32(3)	47(3)	192(24)
計	554 (89)	310 (51)	128 (26)	165 (38)	401 (50)	473 (28)	2,031 (282)
1日平均 患者	3.0 (3.0)		1.2 (1.3)		3.7 (1.4)		- -

() 内は摂食嚥下機能訓練の人数

③ 初診時年齢分布（新患者数）

（単位：人）

区 分	障害児・者	要介護高齢者 固定診療	要介護高齢者 訪問診療	計
10歳未満	28	0	0	28
10～19歳	7	0	0	7
20～29歳	5	0	0	5
30～39歳	4	0	0	4
40～49歳	1	0	0	1
50～59歳	2	0	0	2
60～64歳	3	0	0	3
65～69歳	0	3	1	4
70～79歳	0	7	7	14
80～89歳	0	15	10	25
90歳以上	0	6	11	17
計	50	31	29	110

2. さざんか歯科診療所

(1) 年間患者数

区 分	実患者数（人）	新患者数（人）	延患者数（人）
計	1,120	39	1,245

(2) 診療実績

① 診療日数

障害児・者	146日	摂食嚥下機能訓練	21日
要介護高齢者(固定)	77日	摂食嚥下機能訓練	13日
要介護高齢者(訪問)	36日	摂食嚥下機能訓練	10日

② 延患者数月別内訳

(単位：人)

区 分	障害児・者		要介護高齢者 固定診療		要介護高齢者 訪問診療		計
	男	女	男	女	男	女	
4月	65(5)	16(4)	6(0)	9(6)	3(0)	2(1)	101(16)
5月	46(8)	21(2)	13(6)	9(2)	2(1)	0(0)	91(19)
6月	55(8)	26(5)	9(3)	12(1)	3(1)	2(1)	107(19)
7月	59(8)	13(1)	9(1)	18(4)	3(0)	2(2)	104(16)
8月	61(7)	19(2)	10(5)	7(2)	2(0)	1(1)	100(17)
9月	55(5)	26(5)	20(4)	10(1)	2(0)	1(1)	114(16)
10月	56(5)	18(4)	10(2)	13(3)	2(0)	2(2)	101(16)
11月	64(7)	18(1)	18(6)	10(2)	2(0)	0(0)	112(16)
12月	49(5)	31(4)	12(1)	13(5)	3(0)	0(0)	108(15)
1月	48(4)	16(4)	13(1)	12(3)	4(0)	0(0)	93(12)
2月	55(6)	20(3)	10(5)	12(4)	3(0)	0(0)	100(18)
3月	53(3)	31(4)	14(3)	13(6)	2(0)	1(1)	114(17)
計	666 (71)	255 (39)	144 (37)	138 (39)	31 (2)	11 (9)	1,245 (197)
1日平均患者	6.3 (5.2)		3.7. (5.8)		1.2 (1.1)		- -

() 内は摂食嚥下機能訓練の人数

③ 初診時年齢分布 (新患者数)

(単位：人)

区 分	障害児・者	要介護高齢者	計
10歳未満	13	0	13
10～19歳	2	0	2
20～29歳	4	0	4
30～39歳	4	0	4
40～49歳	3	0	3
50～59歳	0	0	0
60～64歳	1	0	1
65～69歳	0	3	3
70～79歳	0	1	1
80～89歳	0	7	7
90歳以上	0	1	1
計	27	12	39

Ⅲ.収支状況

1. かざぐるま歯科診療所

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位：円)

	30年度予算額	決算額	差額
診療事業収入	24,101,150	24,782,361	-681,211
雑収入	0	51,149	-51,149
利息	0	119	-119
指定管理委託料	45,897,172	30,893,262	15,003,910
収入計	69,998,322	55,726,891	14,271,431

	30年度予算額	決算額	差額
給与手当	13,525,768	13,525,768	0
臨時雇賃金	33,719,648	25,638,559	8,081,089
福利厚生費	2,627,557	2,424,933	202,624
交通費	1,641,166	847,514	793,652
消耗品	642,000	163,945	478,055
燃料費	48,000	131,139	-83,139
光熱水費	251,100	92,296	158,804
食糧費	0	0	0
修繕費	180,000	209,368	-29,368
医薬材料費	5,908,756	1,426,147	4,482,609
通信運搬費	217,092	223,416	-6,324
手数料	396,000	742,055	-346,055
保険料	189,000	113,430	75,570
委託料	3,380,584	3,419,311	-38,727
使用料	681,696	681,696	0
委託費	4,180,080	4,230,080	-50,000
消費税	2,409,875	1,857,234	552,641
支出計	69,998,322	55,726,891	14,271,431

2. さざんか歯科診療所

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位：円)

	30年度予算額	決算額	差額
診療事業収入	8,961,500	13,527,927	-4,566,427
利息	0	144	-144
指定管理委託料	57,847,479	47,816,268	10,031,211
収入計	66,808,979	61,344,339	5,464,640

	30年度予算額	決算額	差額
給与手当	366,000	366,000	0
臨時雇賃金	43,282,990	42,248,860	1,034,130
交通費	2,684,000	2,226,000	458,000
消耗品	538,656	327,075	211,581
光熱水費	2,168,942	1,214,428	954,514
食糧費	36,000	17,060	18,940
修繕費	170,000	88,830	81,170
医薬材料費	2,358,800	2,152,542	206,258
通信運搬費	382,200	303,251	78,949
手数料	1,208,800	790,656	418,144
保険料	18,590	10,190	8,400
委託料	6,521,215	4,590,206	1,931,009
使用料	1,155,828	1,120,244	35,584
委託費	3,120,080	3,440,080	-320,000
消費税	2,796,878	2,448,917	347,961
支出計	66,808,979	61,344,339	5,464,640

IV 中期目標の達成状況及び中期行動計画の実施状況報告

1. 利用者及びその家族に対して提供するサービスに関する事項

目標1 口腔ケアの充実

平成30年度目標：口腔内の状態が「可」と評価された患者の割合80%以上

平成30年度実績：88.2%

●目標達成に対する30年度の活動状況について

<評価対象者 186名>

評価開始時		⇒	3ヶ月後		
歯肉の炎症・舌苔の合計			改善	現状維持	悪化
3点以下	157名		142名		15名
4点以上	29名		22名	7名	
計	186名		「可」と評価された患者数 計164名		

口腔内の状態が「可※」と評価された患者数 186名中164名(88.2%)

※評価開始時に歯肉の炎症・舌苔の合計が

3点以下…3か月後、改善または現状維持していた場合「可」

4点以上…3か月後、改善していた場合は「可」

(参考)

	歯肉の炎症	舌苔
0点	なし	なし
1点	軽度	うすく一部
2点	中等度	うすく全面
3点	重度	厚く

●各歯科診療所の活動状況

(1) かざぐるま歯科診療所

対象者48名中、評価開始時に「歯肉の炎症」と「舌苔」の合計が3点以下であった41名については、3か月後評価時には40名に現状維持あるいは症状の改善が見られた。また、評価開始時に「歯肉の炎症」と「舌苔」の合計が4点以上であった7名については、3か月後評価時には7名全員が初診時より点数が下回り症状の改善が見られた。

<評価対象者 48名>

評価開始時		⇒	3ヶ月後		
歯肉の炎症・舌苔の合計			改善	現状維持	悪化
3点以下	41名		40名		1名
4点以上	7名		7名	0名	
計	48名		「可」と評価された患者数 計47名		

口腔内の状態が「可」と評価された患者数 48名中47名(97.9%)

(2) さざんか歯科診療所

対象者138名中、評価開始時に「歯肉の炎症」と「舌苔」の合計が3点以下であった116名については、3か月後評価時には102名に現状維持あるいは症状の改善が見られた。また、評価開始時に「歯肉の炎症」と「舌苔」の合計が4点以上であった22名のうち15名についても、3か月後評価時には初診時より点数が下回り症状の改善が見られた。

＜評価対象者 138名＞

評価開始時		⇒	3ヶ月後		
歯肉の炎症・舌苔の合計			改善	現状維持	悪化
3点以下	116名		102名		14名
4点以上	22名		15名	7名	
計	138名		「可」と評価された患者数 計117名		

口腔内の状態が「可」と評価された患者数 138名中117名(84.8%)

●30年度の実績及び今後の改善点について

- ・平成28年度は達成率87.4%（かざぐるま歯科診療所95.2%、さざんか歯科診療所83.5%）、平成29年度は達成率89.1%（かざぐるま歯科診療所93.1%、さざんか歯科診療所87.3%）で、平成30年度も88.2%とほぼ同様の結果であった。
- ・かざぐるま歯科診療所の方がより達成率が高く、特に4点以上の方は全員が「改善した」という結果となった。4点以上の方はそれなりのハンデをお持ちと思われるにもかかわらず改善がみられたのは、常勤の歯科医師と歯科衛生士を配置していることで、患者に応じた的確な指導や患者との信頼関係の構築ができたこと等による効果といえる。
- ・要介護者や障害をもつ方の口腔ケアの自立を促すために、診療毎に「磨いてみましょう」と声かけしたり、手添え磨きで練習を実施した。また、模型を使った説明や、障害児には絵コンテを使うなど、患者によりわかりやすく説明できるよう工夫をした。自身で口腔ケアをすることが難しい方については、介助者（支援者）に歯・歯肉・舌等口腔内の清掃方法を実践的に説明したことについても、効果があったといえる。
- ・口腔ケアをさらに向上させるためには、本人及び介助者（支援者）にその重要性をさらに周知させ動機づけを徹底させるとともに、時間をかけ何度も繰り返し指導することが必要と思われる。そのために必要な資料や刷掃器具の見直し、スタッフへの研修も継続して行う。

目標2 摂食嚥下機能訓練による口から食べる機能の維持

平成30年度目標：経口摂取できる状態を維持できた患者の割合80%以上

平成30年度実績：98.1%

●目標達成に対する30年度の活動状況について

<評価対象者53名（経口摂取ができている患者数）>

評価開始時		⇒	3ヶ月後			
0点：普通食	29名		0点	1点	2点	3点
1点：嚥下食	18名	6名	12名	0名	0名	
2点：流動食	6名	1名	0名	4名	1名	
3点：経口摂取 困難 *評価対象外	*0名	-	-	-	-	
計	53名	経口摂取できる状態を維持できた患者数 計52名				

経口摂取できる状態（0から2点）を維持できた患者数

53名中52名（98.1%）

※うち、嚥下食（1点）から普通食（0点）となった患者18名中6名、
流動食（2点）から普通食（0点）となった患者 6名中1名

●各歯科診療所の活動状況

(1) かざぐるま歯科診療所

<評価対象者47名>

評価開始時		⇒	3ヶ月後			
0点：普通食	25名		0点	1点	2点	3点
1点：嚥下食	18名	6名	12名	0名	0名	
2点：流動食	4名	0名	0名	4名	0名	
3点：経口摂取 困難 *評価対象外	*0名	-	-	-	-	
計	47名	経口摂取できる状態を維持できた患者数 計47名				

経口摂取できる状態（0から2点）を維持できた患者数

47名中47名（100%）

※うち、嚥下食（1点）から普通食（0点）となった患者18名中6名

(2) さざんか歯科診療所

<評価対象者6名>

評価開始時		3ヶ月後			
		0点	1点	2点	3点
0点：普通食	4名	4名	0名	0名	0名
1点：嚥下食	0名	-	-	-	-
2点：流動食	2名	1名	0名	0名	1名
3点：経口摂取 困難※評価対象外	0名	-	-	-	-
計	6名	経口摂取できる状態を維持できた患者数 計5名			

経口摂取できる状態（0から2点）を維持できた患者数

6名中5名（83.3%）

※流動食（2点）から普通食（0点）になった患者 2名中1名、
逆に流動食（2点）から嚥下困難（3点）になった患者 2名中1名

●30年度の実績及び今後の改善点について

- ・28年度、29年度の100%の達成率から、今回は98.1%となった。
- ・特にかざぐる歯科診療所では嚥下食18名のうち6名が普通食となる等、改善が多く見られた。また、さざんか歯科診療所においても、流動食から普通食になった患者が1名おり、大きな改善がみられた。
- ・今後も現状維持を継続するとともに、今回流動食から普通食になるなど回復した患者についても定期的な診療を促し、家庭における食環境・食事場面の支援もサポート、経口摂取が継続して生活できるよう協力していきたい。

目標3 固定診療の患者満足度

平成30年度目標：80%以上（「満足」と「やや満足」を足した割合）

平成30年度実績：平均97.3%

●目標達成に対する30年度の活動状況について

平成30年度実績：

<アンケート有効回答数153名（うち休日急患診療16名）>

「満足」と「やや満足」を足した割合 平均97.3%

	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	満足・やや満足の割合
診療内容・説明	131名	18名	2名	0名	2名	97.4%
予約受付の対応	109名	22名	3名	0名	3名	95.6%
スタッフの対応	137名	13名	1名	0名	2名	98.0%
待ち時間	123名	27名	0名	0名	3名	98.0%

※休日急患診療のアンケート（16名）には「予約受付の対応」の項目はなし

●各歯科診療所の活動状況

（1）かぞぐるま歯科診療所

<アンケート有効回答数74名（うち休日急患診療16名）>

「満足」と「やや満足」を足した割合 平均98.1%

	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	満足・やや満足の割合
診療内容・説明	64名	9名	1名	0名	0名	98.6%
予約受付の対応	44名	12名	1名	0名	1名	96.6%
スタッフの対応	67名	6名	1名	0名	0名	98.6%
待ち時間	61名	12名	0名	0名	1名	98.6%

※休日急患診療のアンケート（16名）には「予約受付の対応」の項目はなし

各項目において満足・やや満足が大多数を占めた。

<やや不満の理由>

- ・ <予約受付について>診療日に都合が合わない事もある。
- ・ <スタッフの対応について>初回歯科医師と歯科衛生士の連携がうまくいって
いなかったが、2回目以降は問題なかった。

<要望>

- ・ 子供の診療日が少ないので増やしてほしい。
- ・ もっと予約を取りやすくしてほしい。
- ・ 定期健診と摂食嚥下訓練で診てもらっているが、もっと多く診てもらいたい。
年2~3回は少ない気がする。
- ・ 摂食の時に、口の中もみてもらえると助かる。
- ・ 急に仮歯がとれて休日で困っていたので助かった。夜間診療もあるといい。
(休日急患診療)
- ・ 土日の診療が増えているが、開業医さんは急患への対応はなかなか難しいので、
休日診療は続けてほしい。(休日急患診療)

<その他意見等>

- ・ 不安のある子どもに対して、ていねいに対応して頂いてありがたい。
- ・ 先生がとても親切に説明して下さるので感謝している。
- ・ 休日に丁寧にみていただいて、医師の方もスタッフの方もとても親切で、わ
かりやすい説明で助かった。(休日急患診療)

(2) さざんか歯科診療所

<アンケート有効回答数79名>

「満足」と「やや満足」を足した割合 平均96.5%

	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	満足・ やや満足の 割合
診療内容 ・説明	67名	9名	1名	0名	2名	96.2%
予約受付 の対応	65名	10名	2名	0名	2名	94.9%
スタッフ の対応	70名	7名	0名	0名	2名	97.5%
待ち時間	62名	15名	0名	0名	2名	97.5%

かざぐるま歯科診療所同様、満足・やや満足が大多数を占めた。

<不満の理由>

- ・もう少し詳しい説明が欲しかった。
- ・こちらから聞かなくても教えてほしい事もあるので必要な事は伝えてほしい。担当の先生以外だと対応等が異なる。
- ・なかなか都合が合わない。

<要望>

- ・平日は木曜日以外の曜日も増やしてほしい。せめて平日2日位にして欲しい。
- ・診察が午前のみで曜日も限られているので、診療日が増えると良い。
- ・駐車場の台数も他の施設等と共同使用で難しいと思うが増えると良い。
- ・市内に2カ所では少ないと思うので徐々にでも増えると良い。
- ・アンケートの結果を何かの形で知りたいと思う。
- ・フッ素と飲み込みなど一緒に診てもらえるとよい。
- ・駐車場の案内がもっと適切にしていきたい。三角ポールを運転手自身が動かすように言われる事が多いが障害者を車に乗せているので、なかなか難しい時もある。駐車場案内係にお願いできないか。

<その他意見等>

- ・以前は近所の小児歯科で定期検診を受けていたが、体が大きくなると診察が大変になりさざんか歯科で診て頂くようになった。車いすの患者さんに慣れておられるので安心して通っている。摂食指導も小学校入学前からお世話になっていますが少しずつ上達してきて、今でも経口摂取できているのは、摂食指導のおかげだと感謝している。
- ・栄養士さんからのアドバイスが大変参考になる。先生方、麻酔の先生、歯科衛生士さんに母を守って頂いている様で診療にくると安心する。
- ・最重度の知的障害のため、20数年間は歯の検診に躊躇していた。スタッフの皆様方のおかげで診察が出来て、親としてとてもありがたい。
- ・障がい児を診てもらえる診療所があつて助かった。

●30年度の実績に基づく今後の改善点について

- ・両診療所とも予約がうまく取れない、診療日、診療時間の拡大を望む声が多かった。今後はさざんか歯科診療所の診療日、診療時間の拡充、かざぐるま歯科診療所の障害児者診療拡大について精査、検討していく必要がある。
- ・休日急患診療についても継続を望む声が多くあつた。担当医、スタッフの対応については良い評価が多かったことから、今後も一層研修等を通し、良好な診療体制を取れるよう更に努力して行きたい。
- ・老々介護の方、一人暮らしの方が増加して来ているため、付き添い人の確保が出来ない事で予約にも支障が出ている。よって、原則必要としている付き添いについても改善策を検討する必要がある。

目標 4 訪問診療の患者満足度

平成30年度目標：80%以上（「満足」と「やや満足」を足した割合）

平成30年度実績：平均88.9%

●目標達成に対する30年度の活動状況について

○平成30年度実績：

<アンケート有効回答数 15名>

「満足」と「やや満足」を足した割合 平均88.9%

	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	満足・ やや満足の 割合
診療内容 ・説明	14名	1名	0名	0名	0名	100%
予約受付 の対応	10名	0名	0名	0名	5名	66.7%
スタッフ の対応	14名	1名	0名	0名	0名	100%

●各歯科診療所の活動状況

(1) かざぐるま歯科診療所

<アンケート有効回答数13名>

「満足」と「やや満足」を足した割合 平均87.2%

	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	満足・ やや満足の 割合
診療内容 ・説明	12名	1名	0名	0名	0名	100%
予約受付 の対応	8名	0名	0名	0名	5名	61.5%
スタッフ の対応	12名	1名	0名	0名	0名	100%

訪問診療に関しては固定診療以上に高い評価を頂いた。

<その他意見等>

7年前に脳卒中で倒れ、2年近く栄養剤のみでしたが、ミキサー食、きざみ食、常食と回復してきました。その中で、歯のケアの仕方についてたくさん教えていただき、食べることと歯の大切さを学び、また脳の記憶も7年前からつながり直して、元気になってきています。「もう一度プラネタリウムへいきたい」という夢を持つまでになりました。いつも丁寧に教えて頂いてありがとうございます。

(2) さざんか歯科診療所

<アンケート有効回答数2名>

「満足」と「やや満足」を足した割合 平均100%

	満足	やや満足	やや不満	不満	満足・やや満足 の割合
診療内容・説明	2名	0名	0名	0名	100%
予約受付の対応	2名	0名	0名	0名	100%
スタッフの対応	2名	0名	0名	0名	100%

さざんか歯科診療所からの訪問診療は、かざぐるま歯科診療所より件数が少ないがこちらも高い評価となっている。

<その他意見等>

- ・視力もなく本人も大変と思いますが、うがいをよくしており私は夜のみ磨いてやりますが、自分で磨く時は時間を相当かけておるようです。現在は訪問して頂きありがたいです。好き嫌いなく食事ができる幸せを感じておるようです。

●30年度の実績に基づく今後の改善点について

- ・さざんか歯科診療所からの訪問診療は実施日が限られていて、かざぐるま歯科診療所からの訪問診療に委ねられている部分大きい。今後の更なる超高齢社会に対応した訪問診療の需要を考えると、一般の歯科診療所からの訪問歯科診療と内容が重ならないよう、早急な対応やより重度な利用者に対応できるようなシステムやスタッフのスキルアップを図って行く必要があると思われる。
そのためには船橋在宅医療ひまわりネットワークをはじめとする多職種連携活動に積極的に参加し顔の見える関係の構築を行うとともに、基礎研修や学会活動を通して、必要とされる訪問歯科診療が行えるよう努めていく必要がある。

2. 財務内容の改善に関する事項

目標5 かざぐるま歯科診療所 指定管理委託料の執行率

平成30年度目標：指定管理委託料の執行率 100%以下

平成30年度実績：67.3%

●目標達成に対する30年度の活動状況について

指定管理委託料 予算額：45,897,172円

決算額：30,893,262円 (P.9参照)

(1) 患者の増加に向けた取り組み

- ・医療・介護・福祉連携の中で利用者を増やせるよう、多職種と顔の見える関係を築くため、「船橋在宅医療ひまわりネットワーク」「船橋市在宅医療支援拠点運営調整連絡会議」「船橋市認知症ネットワーク研究会」「船橋地域介護保険事業者交流会」等の会合に出席し診療所のPRを行ったり、口腔保健支援事業における市民向け講演会を開催、また地域包括ケア事例発表会等で取り組みについて講演を行った。

(2) 費用削減への取り組み

- ・患者の予約状況の動向をみて、当番医及びスタッフの出動人数の調整を行い、人件費の削減を行った。
- ・医薬材料費の管理を徹底し、仕入れ値の検討を行いコスト削減に努めた。
- ・良質で安価な業者の選択を行った。
- ・訪問診療にあたっては、予約時にできるだけ同地域の患者をまとめるなど、効率の良いルートや地域を常に検討した。

●30年度の実績に基づく今後の改善点について

- ・市民に対し更なる周知を行う。
- ・歯科衛生士の訪問による口腔ケアサービスの充実を図る。

目標6 さざんか歯科診療所 指定管理委託料の執行率

平成30年度目標：指定管理委託料の執行率 100%以下

平成30年度実績：82.7%

指定管理委託料 予算額：57,847,479円

決算額：47,816,268円 (P. 10参照)

●目標達成に対する30年度の活動状況について

(1) 患者の増加に向けての取り組み

- ・要介護高齢者、障害児・者の治療には、安全と身体への特別な配慮をしつつ、可能な限り患者の状態や診療内容に合わせて細かな時間設定をし、より多くの患者を診られるよう努力した。また、キャンセルの発生を抑えるため予定日の1週間前及び前日に、電話での確認を行った。キャンセルがあった場合は別の患者を入れ診療を行った。
- ・増患のためには口コミで良い評判が広がることが必要であり、そのため、診療後のミーティング、船橋市歯科診療所運営部会でより安全で質の良い医療体制のための意見を出し合い検討し、その結果を担当医連絡協議会等で周知した。
- ・かざぐるま歯科診療所と同様、船橋在宅医療ひまわりネットワーク、船橋市認知症ネットワーク研究会等多職種連携の会に積極的に参加し、広報と周知を行った。

(2) 費用削減への取り組み

- ・診療での材料の無駄が出ないよう最小限の材料を使用、また材料の種類を可能な限り少なくし期限切れ材料が発生しない努力と、診療の術式の統一など効率的な診療方法についても常に検討した。
- ・機械機器の故障を少なくするため、保守と清掃、丁寧な使用を徹底した。
- ・搬送車を効率よく使用する様、地域性・治療内容を考慮したアポイントを行った。

●30年度の実績に基づく今後の改善点について

- ・要介護高齢者・障害児者の診療ということでキャンセルが多く発生するため、より多くの患者を受け入れるために引き続き、キャンセルがあった場合は別の患者の予約を入れるなど、努力をしていく。
- ・経年劣化の備品については、診療に差し支える前に迅速な対応をして行く。

3. その他管理に関する重要事項

目標7 従事者に対し医療安全研修や技術向上を目的とした研修を実施する

平成30年度目標：従事者に対し医療安全研修や技術向上を目的とした研修を実施する。

(参考) 中期行動計画：医療安全研修1回、救急蘇生実習1回、講習会1回を実施

平成30年度実績：医療安全研修1回、救急蘇生実習1回、講習会2回を実施

●目標達成に対する30年度の活動状況について

参加者：歯科医師会会員34名 スタッフ15名

[医療安全研修]

1. 平成31年3月17日 さざんか・かざぐるま歯科診療所合同医療安全研修
さざんか歯科診療所

「モニタリングについて」

講師：東京歯科大学歯科麻酔学講座准教授
松浦信幸先生

参加者：歯科医師5名、さざんか・かざぐるま
スタッフ12名、栄養士1名

[救急蘇生実習]

2. 平成30年9月27日 救急蘇生講習会および実習 本会会議室
「歯科医院における救命処置

～一次救命処置、緊急使用薬剤について～」

講師：東京歯科大学歯科麻酔学講座准教授
松浦信幸先生

参加者：歯科医師会会員34名 スタッフ15名

救急蘇生実習 本会会議室

講師：東京歯科大学歯科麻酔学講座
松浦信幸・久木留宏和・吉田香織各先生

[講習会（学術講演会）]

3. 平成30年7月26日 第1回船橋市歯科診療所学術講演会
船橋市保健福祉センター

「歯科医師国家試験が示唆する認知症対応」

講師：医療法人社団一心会初富保健病院長
唐澤秀治先生

参加者：41名

4. 平成31年3月28日 第2回船橋市歯科診療所学術講演会
船橋市保健福祉センター
「最近の小児・障がい児の歯科診療」
講師：東京歯科大学小児歯科学講座教授
新谷誠康先生
参加者：歯科医師会会員27名 スタッフ8名

[その他会議等]

○平成30年9月27日 第1回船橋市歯科診療所連絡協議会 本会会議室
参加者：28名

○平成31年3月28日 第2回船橋市歯科診療所連絡協議会 本会会議室
参加者：30名

●30年度の実績に基づく今後の改善点について

・今後も継続して、従事者向けに医療安全講習会、学術講演会を実施し安心安全な医療の追求と医道高揚をめざす。